

# 御宿

O N J U K U

平成12年

新春号

2000年 第435号

千葉県御宿町役場



# 迎春

記念すべき二千年を迎え

町民の皆さんが

輝かしい一年となるよう

お祈り申し上げます

元旦



御宿町長 加藤 長

## 年頭所感

## 町民の皆様と共に歩む

## 行政運営を目指して

記念すべき二十年の新春をご家族でお揃いで迎えのことと拝察申し上げます。

町民の皆様には、日頃から御宿町発展のためにご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

おかげを持ちまして、厳しい財政環境の中ではありますが、御宿町は福祉環境・教育など、まちづくりの基本となる分野を中心に、積極的に事業展開を図っております。私は就任以来、政策方針や取り組むべき課題等を皆様にご理解いただくため、広報紙を通じ、町長メッセージを発信してまいりました。

「夢多い郷里（ふるさと）」御宿の創造は、私一人だけで成しえるものではなく、行政を担当する町職員と町民の皆様とが英知を結集してはじめて実現するものと信じます。折しも、町の行政運営の方針とも言うべき「御宿町基本構想」と「基本計画」の策定時期を迎えました。私は、職員一人ひとりが町の現状を見つめ直し、町民の皆様と力を合せて計画づくりを行う手作りの基本構想策定を進める指針を打出しました。

本年は、昨年末にご協力いただいたアンケート調査の結果を分析するとともに、地域懇談会等を開催し、皆様とともに新世紀へ躍動する御宿町の「総合計画」を作り上げたいと考えております。

また、千葉県次期五ヶ年計画へ要望すべき事業についても、積極的に要望してまいります。

二十一世紀への序章となる本年、どのような施策に取り組んでいく方針かを年頭にあたり、あらためて申し述べ、皆様のご理解をいただきたいと存じます。

はじめに、環境の問題です。御宿町の貴重な自然環境を後世に引き継ぐ意味からも、天然記念物ミヤコタナゴを保護するとともに、自然学校やふるさと自然塾といった国の構想をもとに地域振興も図ろうと考えております。

生活環境においては、ダイオキシン対策が緊急の課題であり、平成十四年からの国の基準値をクリア出来る施設改修など、新しい試みを取り入れ、最善の努力をいたします。

町民の皆様には、今後とも分別・リサイクルを念頭においたゴミの収集にご協力をお願いいたします。

また、現在大原町へ委託しております火葬業務につきましては、「町独自の施設を」というご要望を受け、候補地の検討を再三行っておりましたが、海洋センター後背地という諮問機関のご同意を受けて、具体

化を進めてまいります。

次に、教育の問題ですが、私は、地域の特性、地域の人材を活かした教育を推進したいと、教育委員会等へ要請してまいりました。昨年、県教育委員会から子どもたちの「夢を育む教育」推進地域に指定され、御宿高校を含む町内五校で、多彩な活動が計画、展開されています。さらに、文部省から環境教育推進のモデル地区の指定を受け、各学校で町の自然や環境をテーマとした身近な環境学習が実施されます。

施設整備につきましては、昨年教育委員会へ提出された答申にそって、教育施設建設委員会を設置いたしました。中学校の改修を優先に、現在検討をお願いしているところですが、このほか、国際理解、情報教育など新しい時代を担う児童・生徒の育成にハード・ソフト両面から取り組む考えです。少子、高齢化の進む我が町にとって、福祉・保健衛生の充実が重要な課題です。高齢者福祉施策は、近隣市町村に比べ、充実したものとは負しておりますが、本年四月から始まる介護保険制度へのスムーズな移行を図るため、昨年デイ・サービス事業を開始したほか、訪問調査員確保など準備体制を整えてまいりました。本年も、この制度が、従来の福祉サービスを後退させるこ

とがないよう、関係機関と連携をとって取り組んでまいります。

少子化対策につきましては、0歳児保育の実施や新入学児童への祝金支給など新たな施策を実施しましたが、本年は、学童保育を視野に入れた児童館の整備など子育て支援策を講じてまいります。

このほか、昨年末に休止となった布施地区の路線バスの代行としてスクールバスによる試行運転を実施し、高齢者などの生活交通の在り方について検討を進めることとしたほか、四月から義務づけられるチャイルドシート設置、購入のための助成制度の導入など、地域の皆様の声をいち早く行政へ反映するよう努めております。

また、JRを利用する皆さんのご不便を少しでも改善できるよう取り組んでまいります。

産業振興の面では、隣接市町村への大型店の出店による影響が危惧される商業や農・漁業の生産高の停滞など、地域経済の活性化、再生が望まれています。地域消費の拡大を目的に、国の振興券と呼称した町独自の振興券の発行やプレミアム付商品券の発行助成などの策を講じてまいりましたが、本年も商工会をはじめとする関係団体と協議を行い、活性化方策を促進したいと考えております。

基幹産業の再生を図るため、農・漁業施設の基盤整備を推進するとともに、「おんじゅくブランド」となる特産品の開発・育成に取り組んでいますが、町ぐるみで地域経済の活性化を進めるため、(仮称)「まちづくり会社」設立準備委員会を設置しました。各分野の代表者の皆様のご意見をお聞



きしながら取り組んでまいります。

観光面では、充実感や感動を与える施設づくりやイベントの開催など、御宿の newName 所づくりに取り組みたいと考えております。既に具体化を進めている図書館を併設した谷内六郎記念館建設事業の着手など、地域

文化と地域振興の調和を図る施設として位置づけております。

また、町の貴重な財産である美しい砂浜を守るため、本年は特に「御宿ビッカピカビーチ大作戦」を展開し、渚空間をより上品にしていきたいと思っております。

中・長期的には、もっと楽しく、もっと健康的でイキイキとした国際的な海浜リゾート都市へと発展させたいと考えています。これは来訪者のためだけでなく、町民の皆様が快適に、心豊かに暮らせる町とすることが目的であることは言うまでもありません。

せん。都市計画の導入も同様の目的であり、J R線路で区分された東西の融合や下水道整備など、機能的な町づくりのため皆様のご意見を伺い、ご理解をいただきながら原案作成に取り組んでまいります。



御宿町議会議長 貝塚 嘉軒

新年のごあいさつ

# 地域住民の立場に立って 歯ぎざれのよい議会運営を

新年あけましておめでとうございます。記念すべき、西暦二千年を迎え、議会を代表して心からお慶びを申し上げます。昨年の議員定数削減後初の選挙により、私を含め一四人の議会議員が誕生し、初めての新年を迎えることになりました。

券の発行を行うとともに、プレミアム付商品券の発行の助成など地元商業の活性化対策をはじめ、若い世代の子育て支援のための新入学児童への祝金の支給を開始するなど町民の皆様の経済的負担軽減に取り組ましました。

す。現実が厳しければ厳しいほど、それぞれの理想をしっかりと胸に描き、その理想に向かって積極的に取り組むことが必要であると考えます。

固定資産税の評価替や国の恒久的減税、開発事業の停滞など、町の財政基盤の根幹となる町税収入の伸び悩みや介護保険制度などによる新たな財政需要の増加により、町の財政環境は本年も楽観視できない状況にあります。住民福祉向上のため、行政はとどまることはできません。

議会は住民を代表して住民の日常生活に直結する政策課題などについて論議し、解決する場です。地域住民の立場に立って町の政策を決定し、住民の福祉向上と地域の発展に貢献することを使命としています。各議員とも就任以来この使命感にたつて、積極的な議会活動を行っております。

今年、介護保険制度がスタートする年であり、二十一世紀の御宿町のあるべき姿を、そして高齢化社会におけるお年寄りの介護の在り方についてなど、真剣に議論し、町民の皆様への期待に応える所存であります。町財政は厳しい現状にありますが、今後とも削減できるものは積極的に削減し、住民の皆様が望むタイムリーな事業を推進していく必要があると考えております。

町民の皆様には、なお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。どうか、今年も皆様にとつて最良の年でありませう心から祈念申し上げます。まして、年頭のごあいさつといたします。

町民の皆様が何を望み、また町の将来のため何を行うべきか、計画的かつ機動性をもって限りある財源を効率よく活用する行政手腕が求められている時代であります。また、いまこそ町民の皆様が行政参加が必要な時ではないかと考えます。

国内経済の景気低迷は、地方の自治体にも浸透してきており、我が町におきましても地域経済の活性化や就業の場の確保など望む声が一段と強くなっております。こうした中、町単独振興

の削減や審議会等の委員報酬の辞退など微力ではありますが、行政経費の削減に議員一丸となって取り組んでいるところであります。

平成十二年一月四日  
御宿町議会議長 貝塚 嘉軒

平成十二年一月四日  
加藤 長

## 平成11年 御宿町10大ニュース

- 1 第五次御宿町実施計画がスタート。  
手作りによる次期総合計画策定に着手。(4月)
- 2 地域経済の活性化を支援する町単独振興券を発行。(5月)
- 3 町議会議員改選。定数を14人に削減。(9月)
- 4 子育て支援で0歳児保育と小学校入学祝金の支給制度を開設。(4月)
- 5 天然記念物ミヤコタナゴの里帰り。  
役場と小学校で飼育開始。(10月)
- 6 チャイルドシート購入助成制度を創設。(12月)
- 7 県教育委員会から夢を育む教育推進事業、  
文部省から環境教育推進地域指定を受ける。(4月)
- 8 布施地区の路線バス休止により、  
スクールバスの混乗運転試行開始。(12月)
- 9 町営富士浦住宅5棟が完成。(9月)
- 10 他市町村に先がけて、要介護認定の申請受け付け開始。(9月)

一月	加藤ヨシコさんご逝去
四月	町の機構改革
四月	教育長に米本弘夫氏就任
四月	御宿アイスクリーム販売開始
六月	収入役に五十嵐義昭氏就任
七月	各種委員会等報償費受給辞退を申し合わせ
七月	岩和田トイレ完成
七・八月	ダムの濁水による南房総広域水道より 町必要水量七十%の応援給水を受ける
七月	メキシコ少年野球団ホームステイ受入れ
八月	県ビーチバレー大会の実施
九月	商店振興会プレミアム付商品券発行
十月	貝塚嘉軒氏が議会議長に就任
十月	体育祭で実谷、七本チームが優勝
十月	時間雨量七四ミリの記録的な豪雨に見舞われる
十月	ライフセービング大会の実施
十一月	日本沙漠学会設立十周年記念シンポジウム開催
十一月	食メッセ99御宿町出展
十二月	夢と感動のイルミネーションの設置